

【質問】ラスビック点滴静注の投与時の未変化体の排泄率は？

【回答】

ラスクフロキサシン（静注）150 mg及び 300 mgを単回点滴静注投与したとき、投与開始後 72 時間の未変化体の尿中排泄率は、それぞれ 12.2%及び 14.2%でした。

[参考]

健康成人男性 6 例にラスクフロキサシン（錠）75mg を単回経口投与したとき、投与後 144 時間までの未変化体の排泄率は、尿中に 8.38%、糞中に 16.0%でした。

なお、未変化体と脱シクロプロピル体の排泄率の合計は、尿中に 39.9%、糞中に 24.9%でした。

また、健康成人に対してラスクフロキサシン（錠）150mg を単回経口投与した試験及びラスクフロキサシン（静注）150mg を単回静脈内投与した時の AUC_{last} から算出したラスクフロキサシン（錠）のバイオアベイラビリティは 95%でした。

注)ラスビック点滴静注キット 150mg の承認された用法・用量は「通常、成人にはラスクフロキサシンとして、投与初日に 300mg を、投与 2 日目以降は 150mg を 1 日 1 回点滴静注する。」です。ラスビック錠 75 mgの用法及び用量、適応症、適応菌種、使用上の注意等は、ラスビック点滴静注キット 150 mgとは異なることから、最新の添付文書を確認してください。

出典：添付文書、申請資料概要